

減便減速ダイヤ

道が影響調査へ

高橋はるみ知事は、2日の道議会予算特別委員会

で、JR北海道のレール異常放置問題や列車トラブルを受けて11月から減便、減速するダイヤ改正を踏まえ、観光や物流への影響を回避するための対策会議を設置する考えを明らかにした。中司哲雄道議（自民党・道民会議）、梶谷大志道議（民主党・道民連合）の質問に、高橋知事は「道民生活や本道経済への影響を緩和するため、必要な対策を講じる」と答弁した。

道によると、会議は高橋知事をトップに据えて各部長らで構成し、近く設置する見通しだ。各部で観光や物流の課題を共有するため、観光面としては、沿線自治体や宿泊施設などに聞き取りやアンケート調査を行うことを検討している。

会議では、ダイヤ改正に伴ってバスなどの代替輸送が必要だと判断すれば、道運輸局や交通、観光の関係団体と協議に入る。